



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）平田 慶介
問合せ先責任者（役職名）サポート本部長（氏名）今林 俊人（TEL）099-260-2213
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	29,040	0.6	39	—	287	119.6	426	—
2024年3月期中間期	28,869	△5.6	△56	—	130	△75.7	33	△89.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △45百万円（—%） 2024年3月期中間期 560百万円（77.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	74.47	—
2024年3月期中間期	5.88	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	39,704	19,206	47.6
2024年3月期	41,619	19,417	45.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 18,894百万円 2024年3月期 19,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,855	5.3	1,162	44.2	1,591	26.3	878	23.7	153.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	6,100,503株	2024年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	380,469株	2024年3月期	369,569株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	5,725,914株	2024年3月期中間期	5,747,142株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が進む一方で、円安の長期化や原材料価格の高騰による物価高の影響から節約志向が高まり、個人消費は低調に推移しました。また、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の不安定化等によるエネルギー価格の高止まりが続いており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー事業において、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する営業活動を強化し、燃料油やL P ガスの販売シェア拡大を図るとともに、その他の事業についても、「既存事業の強化」と「新規事業の開拓」を目的に、新店舗出店や店舗リニューアルの実施に加え、業態変更による新規事業の導入を進めるなど、多様な消費者ニーズの変化に対応した店づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、エネルギー関連商品の販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、当中間連結会計期間の売上高は290億40百万円(前中間連結会計期間比0.6%増)となり、経常利益は2億87百万円(前中間連結会計期間比119.6%増)、税金費用の減少により、親会社株主に帰属する中間純利益は4億26百万円(前中間連結会計期間比1,160.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した営業活動に加え、S S 事業において販促アプリを活用したイベント告知やクーポン配布等を行うことで来店動機の促進を図りました。また、社員のスキルアップと営業力強化を目的とした研修会を実施し、油外商材の拡販と接客サービスの向上に努めております。一方で、設備の老朽化と採算の悪化により、都城中原S S (宮崎県都城市)を2024年7月末に、七ツ島S S (鹿児島市)を2024年9月末で閉店いたしました。

ガス部門では、共納先のシェアアップを強化し、L P ガスの増販を図るとともに、採算販売にも注力することで利益確保に努めました。また、キャンペーン等を活用した対面営業活動を推し進め、住設機器の販売やリフォーム受注による収益の確保に取り組んでおります。

上記の通り販売シェア拡大に向け取り組んだものの、燃料油・L P ガスが計画した販売数量に届かなかったことから、売上高は221億26百万円(前中間連結会計期間比0.1%増)と横ばいに留まりましたが、セグメント利益(営業利益)は1億69百万円(前中間連結会計期間比329.8%増)となり、収益状況は改善しました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、季節商材の販売を拡大するとともに、話題作コミックや売れ筋商品の展開を強化することで売上確保に努めました。また、売上の低迷していたレンタル・セル売り場を縮小し、ブックスミスミ日向店ではフィギュア・トレカ等の買取・販売を行う「駿河屋」を、ブックスミスミ鹿屋店ではネイルサロン「ティーエヌ」をそれぞれ2024年5月にオープンさせるなど、時代のニーズに合わせた売り場づくりを進めることで、お客様への訴求を強化いたしました。一方で、採算の悪化していたブックスミスミ七ツ島店(鹿児島市)を2024年7月末で閉店いたしました。

以上の結果、売上高は35億63百万円(前中間連結会計期間比3.0%増)となりましたが、新規事業の出店準備費用の発生等で経費が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は25百万円(前中間連結会計期間比57.3%減)となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるK F Cにおいて、店舗イメージの刷新を目的とした店舗の改装やロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。2024年4月には熊本県合志市にK F C合志店を新規オープンいたしました。

以上の結果、売上高は33億49百万円(前中間連結会計期間比1.3%増)となり、セグメント利益(営業利益)は2億61百万円(前中間連結会計期間比6.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当中間連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて19億15百万円減少し、397億4百万円となりました。これは主に、有形固定資産が増加する一方、受取手形及び売掛金や投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて17億4百万円減少し、204億97百万円となりました。これは主に、借入金が増加する一方、買掛金や役員退職慰労引当金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億10百万円減少し、192億6百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加する一方で、その他投資有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、固定資産の取得7億11百万円、仕入債務の減少6億54百万円及び役員退職慰労引当金の減少6億5百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少13億85百万円、借入金の増加5億98百万円及び税金等調整前中間純利益4億18百万円等の資金の増加により、前連結会計年度に比べ3億14百万円増加し、当中間連結会計期間は47億62百万円(前中間連結会計期間比12.5%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加額は、2億25百万円(前中間連結会計期間比85.1%減)となりました。これは主に、仕入債務の減少6億54百万円、役員退職慰労引当金の減少6億5百万円及び法人税等の支払い3億45百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少13億85百万円及び税金等調整前中間純利益4億18百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少額は、3億43百万円(前中間連結会計期間比24.8%減)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入2億51百万円等がありましたが、固定資産の取得7億11百万円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加額は、4億32百万円(前中間連結会計期間は88百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払い1億43百万円等の資金の減少がありましたが、借入金の増加5億98百万円の資金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2024年5月13日発表から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,278,755	5,587,584
受取手形、売掛金及び契約資産	6,089,004	4,731,393
商品及び製品	2,979,283	2,973,092
仕掛品	39,563	38,704
原材料及び貯蔵品	16,832	19,898
その他	723,901	589,987
貸倒引当金	△3,426	△2,829
流動資産合計	15,123,914	13,937,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,401,651	5,687,410
土地	11,790,476	11,790,476
その他(純額)	1,547,285	1,528,474
有形固定資産合計	18,739,413	19,006,360
無形固定資産		
のれん	1,233,497	1,141,071
その他	105,544	85,472
無形固定資産合計	1,339,041	1,226,543
投資その他の資産		
その他	6,584,839	5,703,512
貸倒引当金	△167,405	△169,536
投資その他の資産合計	6,417,434	5,533,976
固定資産合計	26,495,889	25,766,881
資産合計	41,619,804	39,704,713
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,013,982	2,359,333
短期借入金	4,985,000	5,075,000
1年内返済予定の長期借入金	3,073,000	3,433,000
未払法人税等	388,080	76,845
賞与引当金	319,130	337,202
その他	1,689,850	1,206,251
流動負債合計	13,469,043	12,487,632
固定負債		
長期借入金	6,366,500	6,515,000
役員退職慰労引当金	806,730	201,104
その他	1,560,097	1,294,070
固定負債合計	8,733,327	8,010,174
負債合計	22,202,371	20,497,806

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	14,660,387	14,943,257
自己株式	△655,182	△674,773
株主資本合計	17,342,704	17,605,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,661,847	1,201,100
退職給付に係る調整累計額	98,641	86,923
その他の包括利益累計額合計	1,760,489	1,288,024
非支配株主持分	314,238	312,897
純資産合計	19,417,432	19,206,906
負債純資産合計	41,619,804	39,704,713

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	28,869,034	29,040,039
売上原価	23,148,764	23,060,470
売上総利益	5,720,270	5,979,568
販売費及び一般管理費	5,776,984	5,940,436
営業利益又は営業損失(△)	△56,714	39,131
営業外収益		
受取利息	3,639	4,249
受取配当金	47,033	67,542
受取賃貸料	103,923	112,209
その他	175,589	155,174
営業外収益合計	330,185	339,175
営業外費用		
支払利息	40,286	48,133
賃貸費用	22,411	22,892
固定資産除却損	70,378	13,417
その他	9,565	6,559
営業外費用合計	142,642	91,002
経常利益	130,828	287,304
特別利益		
固定資産売却益	1,608	1,920
投資有価証券売却益	—	175,253
特別利益合計	1,608	177,174
特別損失		
固定資産売却損	—	60
減損損失	—	45,497
特別損失合計	—	45,558
税金等調整前中間純利益	132,436	418,920
法人税、住民税及び事業税	46,853	43,965
法人税等調整額	54,575	△52,055
法人税等合計	101,429	△8,089
中間純利益	31,007	427,010
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△2,808	617
親会社株主に帰属する中間純利益	33,815	426,393

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	31,007	427,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	542,659	△460,746
退職給付に係る調整額	△13,354	△11,802
その他の包括利益合計	529,305	△472,549
中間包括利益	560,312	△45,538
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	563,309	△46,070
非支配株主に係る中間包括利益	△2,997	532

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	132,436	418,920
減価償却費	410,845	411,158
減損損失	—	45,497
固定資産除却損	70,378	13,417
のれん償却額	97,031	92,956
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,687	1,533
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,070	18,072
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,750	△605,626
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△9,425	△10,054
受取利息及び受取配当金	△50,672	△71,791
支払利息	40,286	48,133
固定資産売却損益(△は益)	△1,608	△1,860
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△175,253
受取保険金	△540	△257
売上債権の増減額(△は増加)	873,610	1,385,271
棚卸資産の増減額(△は増加)	△116,176	3,984
仕入債務の増減額(△は減少)	154,987	△654,649
その他	100,410	△367,889
小計	1,727,072	551,563
利息及び配当金の受取額	49,462	70,118
利息の支払額	△40,984	△51,345
保険金の受取額	540	257
法人税等の支払額	△221,885	△345,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,514,205	225,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,300	△6,300
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
固定資産の取得による支出	△367,279	△711,704
固定資産の売却による収入	1,994	2,892
投資有価証券の取得による支出	△17,355	△17,012
投資有価証券の売却による収入	—	251,485
差入保証金の差入による支出	△1,095	△9,265
差入保証金の回収による収入	3,030	3,278
貸付金の回収による収入	431	—
その他	△81,670	131,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456,245	△343,136

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	200,000
短期借入金の返済による支出	△90,000	△110,000
長期借入れによる収入	1,900,000	2,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,766,508	△1,791,500
リース債務の返済による支出	△1,120	△1,120
自己株式の取得による支出	△8,153	△19,590
配当金の支払額	△115,044	△143,603
非支配株主への配当金の支払額	△7,494	△1,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,319	432,311
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	969,639	314,528
現金及び現金同等物の期首残高	4,470,633	4,448,398
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,440,273	4,762,927

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき事項はありません。

(会計方針の変更)

当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
(会計方針の変更)	
(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)	
「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当中間連結会計期間において、中間連結財務諸表に与える影響はありません。	

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,102,903	3,458,195	3,307,935	28,869,034	—	28,869,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,387	42,954	—	52,341	△52,341	—
計	22,112,290	3,501,149	3,307,935	28,921,376	△52,341	28,869,034
セグメント利益又は セグメント損失(△)	39,499	59,270	245,603	344,373	△401,088	△56,714

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△401,088千円には、セグメント間取引消去1,592千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,681千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,126,922	3,563,485	3,349,630	29,040,039	—	29,040,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,911	37,683	—	46,595	△46,595	—
計	22,135,834	3,601,168	3,349,630	29,086,634	△46,595	29,040,039
セグメント利益	169,780	25,299	261,533	456,613	△417,482	39,131

(注) 1 セグメント利益の調整額△417,482千円には、セグメント間取引消去1,171千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△418,653千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー」セグメントにおいて9,957千円、「ライフスタイル」セグメントにおいて35,540千円を減損損失として特別損失に計上しております。